

事務事業名	障がい児等保育対策事業(私立分)	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	教育・保育グループ	課長名 後藤 和子
	施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	長妻 亜有美	電話番号:0854-40-1044 (内線):2253
	目的・対象	対 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳) 意 A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	予 算 科 目	会計 款 大事業 大事業 0:1:1:5:0:1 項 目 中事業 中事業 1:0:2:0:6:8	大事業名 私立保育所総務管理事業 中事業名 障がい児等保育対策 業名 事業補助金
	基本事業	〈071〉子どもの心と体の健やかな発達支援 目的・対象 対 子ども・保護者等 意 子どもが健やかに育つ。安心して出産し、子育てができる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
集団保育が可能な、日々通園できる保育に欠ける障がい児及び障がい児受入実施保育園	保育所での適切な保育環境のもと、健常児との相互作用で心身の成長発達を促す。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	○障がい児等の保育の促進を図るために、保育士を配置し障がい児等を受入れる市内私立認可保育園(保育士加配配置・補助基準に準ずる児童の受入)に対して、補助金を交付する。 ○財源は県単しまねすくすく子育て支援事業(障がい児保育事業:特別児童扶養手当受給児童が対象、発達促進保育事業:療育手帳若しくは身体障がい者手帳交付児童等)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 該当基準による障がい児を受入、加配保育士を配置している保育所への補助 補助金申請の審査、決定、交付、支払	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・加配保育士配置にあたっては事前に要望書を求め、予算確保に努めている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 保育実施児童数/入所申込児童数	%	100.0	100.0	100.0	100.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
○障がい児等保育対策事業補助金: 12,567千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
四ツ葉学園保育所 補助額 6,559千円		県支出金	千円	513	1,111	897
みなみかも保育園 補助額 3,822千円		地方債	千円		15,200	10,200
あおぞら保育園 補助額2,186千円		その他	千円			11,600
【財源】地域振興基金繰入金		一般財源	千円	10,328	86	70
	事業費計	千円	10,841	16,397	12,567	11,112

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	障がい等を持つ児童受入のために配置する、加配保育士の人件費を助成。 加配保育士の確保につながり、結果として児童の受け入れに繋がった。 保育に欠ける障がい児等についても、可能な限り受け入れ、保育所での集団保育(生活)をすることで、障がい児等の成長と発達を促すとともに、障がい児以外の児童の助け合いや共生の気持ちを醸成することにつながる。
② 事業実施するうえでの課題	・補助基準額引き上げによる財源の確保(保育士を加配するため必要経費は補助額以上にかかっている) ・特別に支援が必要な児童が年々増加傾向にあり、これに対応するための保育士の確保が課題となっている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・必要な予算確保のため、起債事業を活用。人件費を市の会計年度任用職員の給与表をベースに積算し、適正な補助額となるようにした。 ・保育士の確保については当該事業のみならず、他の補助事業等も活用し、必要な保育士の確保に努めていただいている。